

◆ 平成26年度活動報告シート ◆

団体名：氷川の杜まちづくり協議会

代表者：会長 小峯 政昭

URL：

1. 活動が必要とされた状況

氷川参道は、さいたま市の歴史・文化的資産であり、都心部に残された貴重な緑の空間です。

しかし、通行人が並木敷きへ立入ることにより、並木敷きは締め固まり、樹木が傷んできている問題があります。

本活動は、氷川参道を緑豊かな歩行者系のシンボル軸として将来にわたり引継ぐため、並木敷きへ低木の植栽を行うことで通行人の立ち入りを防ぎ、現状の並木を保全し、また、参道にふさわしい景観の整備を行うことを目的としています。



2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

神社、協議会、市の三者協働により事業を実施、秋から初春にかけて並木敷きへの植栽及び竹垣の設置を行いました。実施区間：氷川参道東側並木敷き（南大通東線以南 総延長約210m）

1) 植栽の実施

実施時期 平成26年10月26日、11月1、8、15日

各日の午前・午後(11/1 は午前のみ)

参加者 各日の午前・午後 各20名程度

内容 残材処理と中低木植栽および、草刈作業を行った。

2) 竹垣の設置

実施時期 平成27年2月7日 午前・午後

参加者 各20名程度

内容 並木敷きに立ち入らないよう景観に配慮し竹垣を設置。



3. 活動の成果

事業開始から5年目となり、これまでに総延長約1kmの区間の植栽が完了し、並木敷きへの立ち入りの防止と、景観の向上という成果を達成している状況です。

今年度には神社でも沿道の方々と調整をされて、並木敷きの通行が行われていた箇所にも竹垣を設ける取り組みを実施されています。

これまでの当協議会の取り組みによって、沿道の方々の並木敷き保護に対するご理解も進んできている成果ではないかと思えます。

4. 今後に残された課題

これまでの活動によって、約1kmの区間の植栽が完了しましたが、残りの区間についても引き続き事業を継続していく必要があります。残りの区間については、沿道に店舗などもあるため、これまで以上に沿道の方々との調整を図りながら活動を行っていく予定です。また、植栽を完了した区間についても、雑草や枯れ等が目立つ部分が見られる事から、定期的に維持管理作業を行っていく必要もあります。